

てらこや便り わあい♪ 2025. 1. 14 No. 109

★3学期スタート！それぞれいい顔をしていて冬休みを楽しんできたのが伝わる。おかえり！笑顔で戻ってきてくれてうれしい。風邪旋風がやってきて、まだ今月は全員そろそろ日がない。みんな早く元気になあれ♪待ってるね！★久しぶりに3人の子と逢う。それぞれ落ちてる時に電話で話を聴くことが多いから心配だったけど、話してみると自分で酸いも甘いも感じながらしっかり歩み始めている。気を揉んでいるのは私だけで、母の役割は、ただ大丈夫と信頼し、その子の人生を受けとめて見守ってあげればいいのかと改めて思ったお正月。自分の人生を私も歩もう。そして両親も「一人暮らし大丈夫か？ちゃんとご飯食べてるのか？」と私をいつまでも心配してくれている(笑)。

日	月	火	水	木	金	土
1	2025年 令和7年 今年もよろしくお祈りします		1	2 花歩 7歳♪	3	4
5	6	7	8 3学期スタート	9 もちつき大会	10	11
12	13 成人の日	14 書き初め	15	16	17 科学実験教室	18
19	20	21 書き初め	22 花歩の誕生日会	23	24	25 大人のてらこや!!
26	27	28	29	30	31 ひとつのじかん	

○ こどもたちがお昼ごはんを考える日(緑色の日) 25日(プランや天候によって変更の可能性あります。) * 青字・・・誕生日♪

◆♪*...◆♪*...◆♪*...◆♪*...◆ お知らせ ◆♪*...◆♪*...◆♪*...◆♪*...◆

☆雪山探検の詳細について、後日お便りを配付します。1泊2日、2月に実施予定です。
2月5(水)～6(木)日
2月6(木)～7(金)日どちらかを予定

☆ 1月25日(土)「大人のてらこや」やります!!

大人もやりたいとをやる時間に
します。おむすび持参でお願いします。
10:00～14:30の予定。参加する方は1/23まできくへ。
きく企画
きくより

☆旅立ちの会 3月20日(木)春分の日

◆♪*...◆♪*

キッチンスタッフ 里香さん's essay

◆♪*...◆♪*

三重県の農業高校で学んでいる、息子の宙が冬休みに帰省してきた。学校では養鶏部に属していて、1500羽の鶏を飼っている。その鶏達の世話があるため、冬休みも後半は学校に戻らなければいけない。年末に山口に戻ってきて、彼がまずしたいと言ったことは「近くで養鶏をやっている人のところを訪ねて行きたい」だった。今、学校での養鶏が楽しくて仕方ないらしい。楽しいと言っても、今の学校のやり方に満足しているわけではなく、いろいろと課題があるので改革するために、学校外からの情報を仕入れたい、ということらしい。そこで山口・広島、個人で養鶏をやっている方を数人訪ねていった。メモを片手に質問をして、帰ってきたら見たこと聞いたことを詳細にノートにまとめ、勧められた養鶏についての本を買って読み込んでいた。

年末に、おうちえん・てらこやのスタッフで、鍋を囲む忘年会のような集まりをした。そこに宙も参加させてもらった。そのときに、宙がこのようなことを話していた。「今愛農高校で、自分は何をやりたいのか、どうありたいのかを考えて、そのためにやるべきことを決めている。考えてみたら、それはおうちえん・てらこやでやってきたことと同じだなと最近気づいた。おうちえん・てらこやで、自分でやりたいことを決めてそれをどう実行するか考えることを毎日繰り返してきた。それは自由なようで、時には逆に苦しかった。でも今になって、その経験が今の自分の核心にあると感じている。自分自身でいていいんだと安心できている。だからその頃から見守ってくれているスタッフには、ありがたいなと思っている」私としては宙がそんなふうを感じていること、またそれを素直にスタッフに伝えたことが、嬉しかった。

宙は今学校の規則で、スマホのない生活を送っている。でもそれはかなり意味のあることだと本人的には納得しているようだ。学校と寮で24時間一緒に過ごす仲間とは、やはりいいときばかりではなく、気まずいときや嫌な時もある。そんなとき、スマホがあれば、例えばひとりで動画を見たりして自分だけの世界に入り込むことで気分を紛らわせたり、顔を見て話さなくても、スマホを通じたメッセージだけでやり過ごすこともできる。でもスマホがないとそういうことができないので、否が応でも直接伝えて話し合うしかない。お互い苦しくてもそれを繰り返すことで、本当の自分を出すしかなくなり、仲間のこともだんだん受け入れられるようになる、という作用があるということだ。そこから得た「思うことは直接素直に伝えたほうがいい」という学びから、スタッフに対しても感謝を伝えたかった、ということだった。

親としてスタッフとして、私達大人はいつも一生懸命子ども達に向かい合っているつもりだ。でもそこに分かりやすい正解などはない。宙についても、過去には辛くて寮の公衆電話を泣きながらかけてきたこともあるし、今は楽しそうだが、これから何があるかはわからない。でも彼自身が言ったように「核心」に「自分自身であっていいんだ」があれば、彼も、てらこや・おうちえんも、大丈夫なんじゃないか、そのようなことを感じた年末年始でした。